

### 心と心が通い合った「6年生ありがとう集会」

3月6日（金）、本校講堂で「6年生ありがとう集会」を行いました。これまで学校のリーダーとして、委員会活動やたてわり活動、登校班など、さまざまな場面で下級生を支えてくれた6年生に、感謝の気持ちを伝えるための集会です。

この日のために、1年生から5年生の子どもたちは、6年生へのお祝いの言葉や歌の練習を重ねたり、心をこめてメダルを作ったりと、準備を進めてきました。

当日は、4・5年生の代表委員の子どもたちが司会やあいさつをつとめ、会を進めました。6年生が入場すると、講堂いっぱいにあたたかな拍手が広がりました。ひな壇に並ぶ6年生の表情には、少し照れくさそうな笑顔も見られ、会場はやさしい雰囲気になりました。



はじめのあいさつのあとには、「くす玉」ならぬ「くす箱」わりが行われました。くす箱が開くと、中から現れたのは大きな「ありがとう」の文字。講堂いっぱい拍手と笑顔が広がりました。

在校生からのプレゼントでは、1年生が6年生一人一人に手作りのメダルをかけました。このメダルは、5年生が厚紙を切り取って穴をあけ、3年生がお祝いの言葉を書き、2年生が絵を描き、4年生がリボンをつけて・・・と、みんなで心をこめて作ったものです。背伸びをしながらメダルをかける1年生に、6年生が目線を合わせて「ありがとう」とやさしく声をかける姿が見られ、会場全体があたたかな雰囲気に包まれていました。

続いて、在校生から6年生へ、呼びかけと歌「僕らまた」のプレゼントが贈られました。「やさしくしてくれてありがとう」「6年生の姿がかっこよかった」「学んだことを受けつぎたい」——そんな気持ちのこもった言葉と、「友情を大切に、前へ進もう」というメッセージがこめられた歌声が講堂に響きわたり、6年生も静かに耳を傾けていました。



その後は、たてわり班で「6年生クイズ」や「ばくだんゲーム」を楽しみました。学年をこえて声をかけ合い、笑顔いっぱい交流する姿があちらこちらで見られました。これまでのたてわり活動の中で育まれてきた絆が感じられる、あたたかな時間となりました。



集会の終わりには、6年生から在校生へ、そうきんと歌「カイト」のプレゼントが贈られました。手作りのそうきんには、「学校をこれまで以上にきれいにしてほしい」という思いがこめられています。「人とのつながりを力にして、自分の夢に向かって進んでいこう」・・・そんな在校生へのメッセージがこめられた歌声が講堂に広がると、会場はしんと静まり、全校のみんながその歌声に聴き入っていました。代表委員の終わりのあいさつのあと、6年生はアーチを通過して退場しました。  
(※裏面に続く)

(※表面より)

6年生の卒業をお祝いする気持ち、お世話になったことへの感謝の気持ち、そしてお別れを少しさびしく思う気持ち—さまざまな思いが講堂いっぱいに広がり、全校児童の心が通い合う、あたたかなひとときとなりました。

集会の中では、在校生のあたたかな気持ちに感無量になっている6年生の姿も見られました。また、お世話になった6年生のことを思い、涙を流す在校生の姿もありました。子どもたちの姿から、互いを思いやる心のつながりを強く感じました。

下級生にやさしく関わり、学校のリーダーとして活躍してきた6年生。そして、その6年生の卒業を心からお祝いしようとする在校生。子どもたちのやさしさと感謝の心があふれる、野田小学校らしい、あたたかな集会となりました。

6年生が野田小学校に登校する日も、あとわずかとなりました。1日1日を大切に過ごし、残り少ない小学校生活が、子どもたちにとって心に残る時間になることを願っています。



## のだっこ Diary

★子どもたちの学校生活の様子は、本校ホームページでも紹介しています。随時更新していますので、ぜひご覧ください。

### 【卒業遠足（6年生：キッザニア甲子園）1月30日（金）】

キッザニア甲子園では、学校では味わうことができない、いろいろな仕事の体験をしました。働く「キッズ」という特別な通貨でお給料ももらえます。子どもたちの笑顔を見る限り、楽しい思い出がたくさんできたことと思います。残すところあとわずかの学校生活。1日1日を大切にすごしてくださいね。



※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。